

新明解説

人事担当者のための SDGs講座

～持続可能な開発目標を踏まえ人事が今すべきこと～

株式会社全就連 代表取締役 萩原 京二

■はじめに：推進役は人事が適任

SDGs（持続可能な開発目標）の推進が加速しています。新聞や雑誌などのマスコミでもSDGsのことを話題にしない日はないと言ってもよいですし、街を歩けば、胸元にカラフルなSDGsバッジ（カラーホイール）をつけている人をたくさん見かけます。このような流れを受けて、各企業においてもSDGsへの取り組みを検討されていることと思います。会社によっては「SDGs推進室」などが設置されて、専任の担当者が置かれているケースもあります。

このように大企業ではSDGsへの取り組みが進んでいる一方で、中小企業ではまだSDGsへの理解が十分にされていないというのが現状です。また、SDGsに取り組む必要性を理解したとしても、「何を、どこから始めればよいのか分からない」ということで悩んでいる会社も少なくないようです。

ところで、筆者は「SDGsの取り組みは人事部が主導して行うべきである」との思いを持っております。その理由は、SDGsの17ゴール（後述）の中には人事施策と関連するテーマが非常に多いからです。ですから、人事部がリーダーシップを発揮して、企業のSDGsを推進する役割を担っていただきたいと考えているのです。

そこで本稿では、「人事担当者のためのSDGs講座」というテーマで、SDGsへの取り組みが必要とされる背景や企業としてSDGsに取り組むことのメリット（あるいは取り組まないことによるデメリット）、さらにはSDGsへの具体的な取り組み方法（手順）、人事部としてのSDGsへの関わり方などについて分かりやすく説明したいと思います。

目次

はじめに：推進役は人事が適任

1. 今さら聞けないSDGsの基礎知識
2. 企業がSDGsに取り組むべき理由
3. 企業内でSDGsを推進する手順
4. 人事部門の視点で考えるSDGsへの取り組み



5. ニューノーマル時代の企業経営とは

萩原 京二（はぎわら きょうじ）
<https://decentwork.or.jp/>

（株）全就連、社労士法人全就連、
一般社団法人ディーセントワーク
推進協議会の代表。

中小企業向けに特化した
「SDGsコンサルティング」の手
法を考案し、一般社団法人ディー
セントワーク推進協議会を設立。
「SDGsコンサルタント養成講座」
を開催し、コンサルタントの育
成を行っている。現在、全国に
約50名の会員コンサルタントが所属。

最新の著書（原作）は、「マンガでわかる キミの生涯賃金“2
億円”を守る！労働契約の方法」（小学館）。

